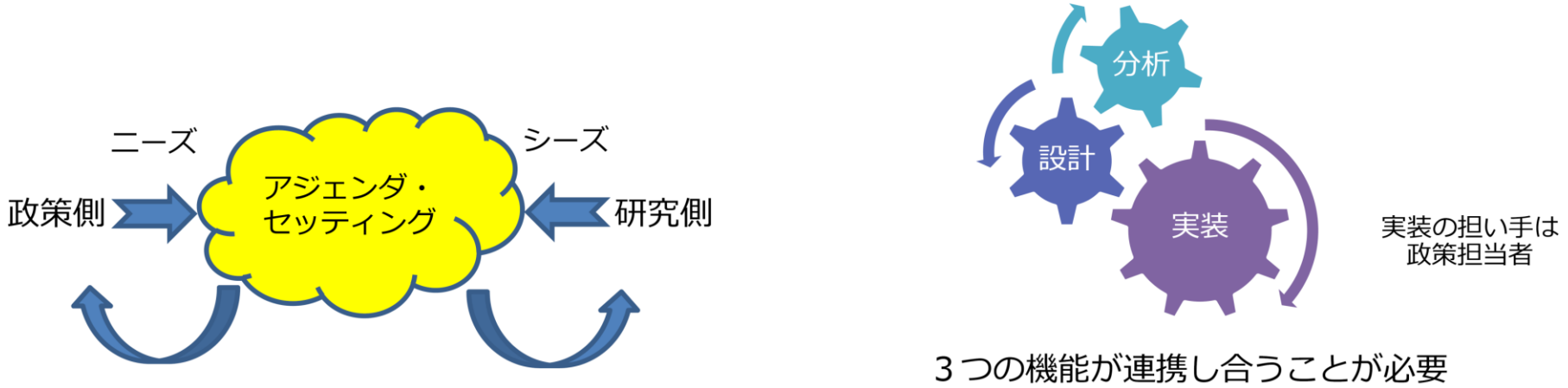


SciREX事業棚卸・俯瞰構造化の取組み

目的・背景

SciREX事業棚卸・俯瞰構造化

- （背景・動機）SciREX事業第2フェーズがスタート。SciREX事業の成果最大化が求められている。
- （狙い）
 - 「科学技術イノベーション政策の科学」が今後、何を研究対象としていくべきか（“Science Questions”）、**改めて**明らかにし、コミュニティで共有
 - 次年度以降の重点課題・重点取組分野、各プロジェクトのスコーピング等の議論において、また、コアカリキュラム作成において活用



プロセス

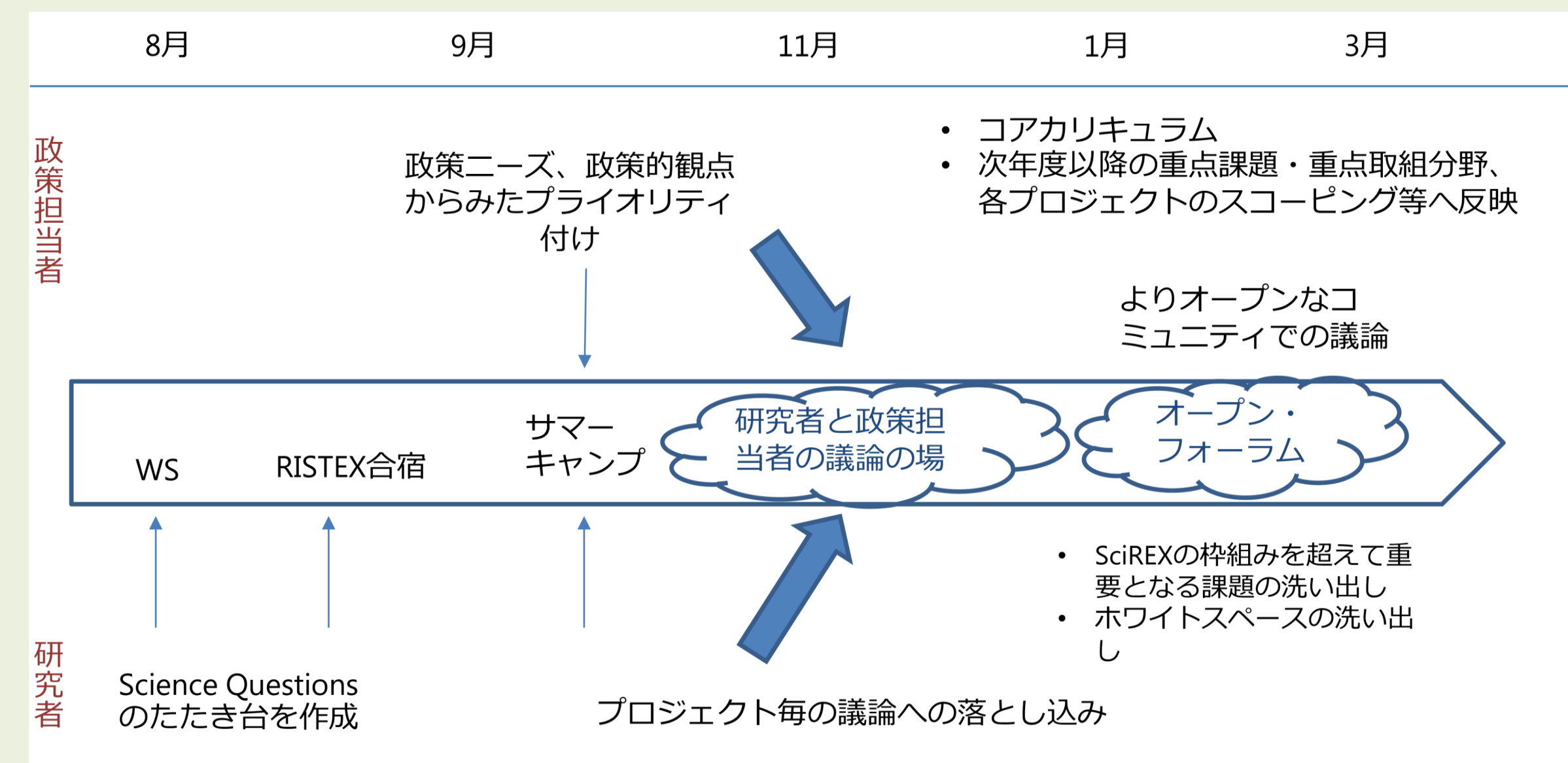
SciREX事業棚卸・俯瞰構造化WS 開催概要

- 日時 8月2日（火）15～18時
- 場所 GRIPS
- 主催 「科学技術イノベーション政策の科学」構造化研究会（GRIPS、JST-CRDS、NISTEP）
- 参加者：拠点大学、関係機関、政策リエゾン（全35名）



- セミクロードで行ない、グループ・ワーク方式で議論
- グループ・ワーク①～俯瞰：自分の立ち位置・フェーズの見える化～
- グループワーク②～深堀：分析、設計、実装フェーズの意識～

スケジュール



「科学技術イノベーション政策の科学」では何を研究対象としていくべきか？（“Science Question”は何か？）

第1レイヤー

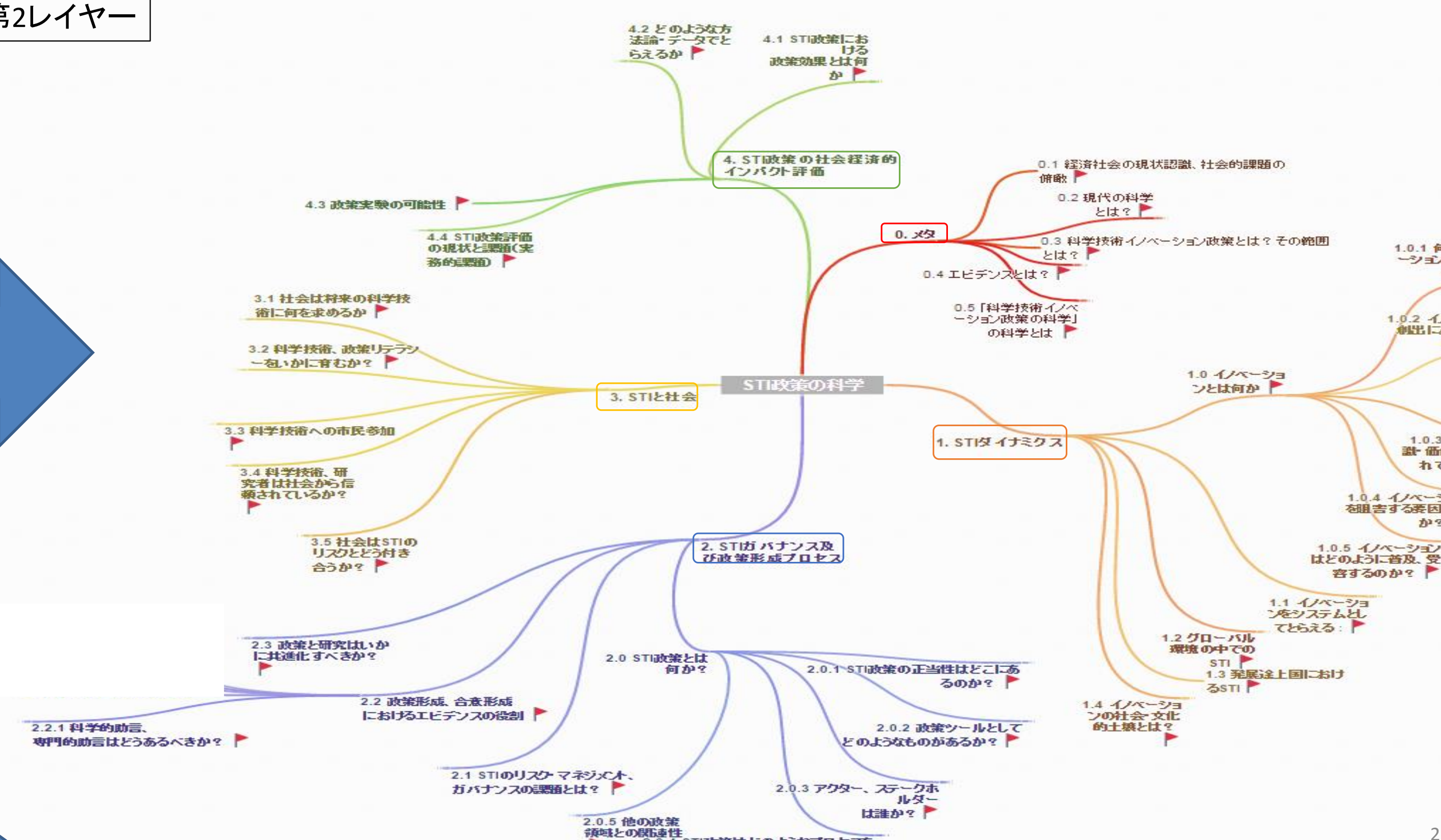
科学技術イノベーション政策の社会経済的影響測定における、政策オプションやロジックモデル等の基本的な考え方、必要なデータや方法論を理解し、どう活用するか。

科学のあり方の変容、エビデンスの意味等のメタな課題は何か。

科学技術及びイノベーションが、どのようなプロセス、ダイナミクスを経て起こるのか。どのような資源が利用され、結合、価値創造、普及のプロセスを経るのか。アクターとして企業、大学、公的研究機関、政府、市民は、其々どのような役割を持ち、連携できるか。

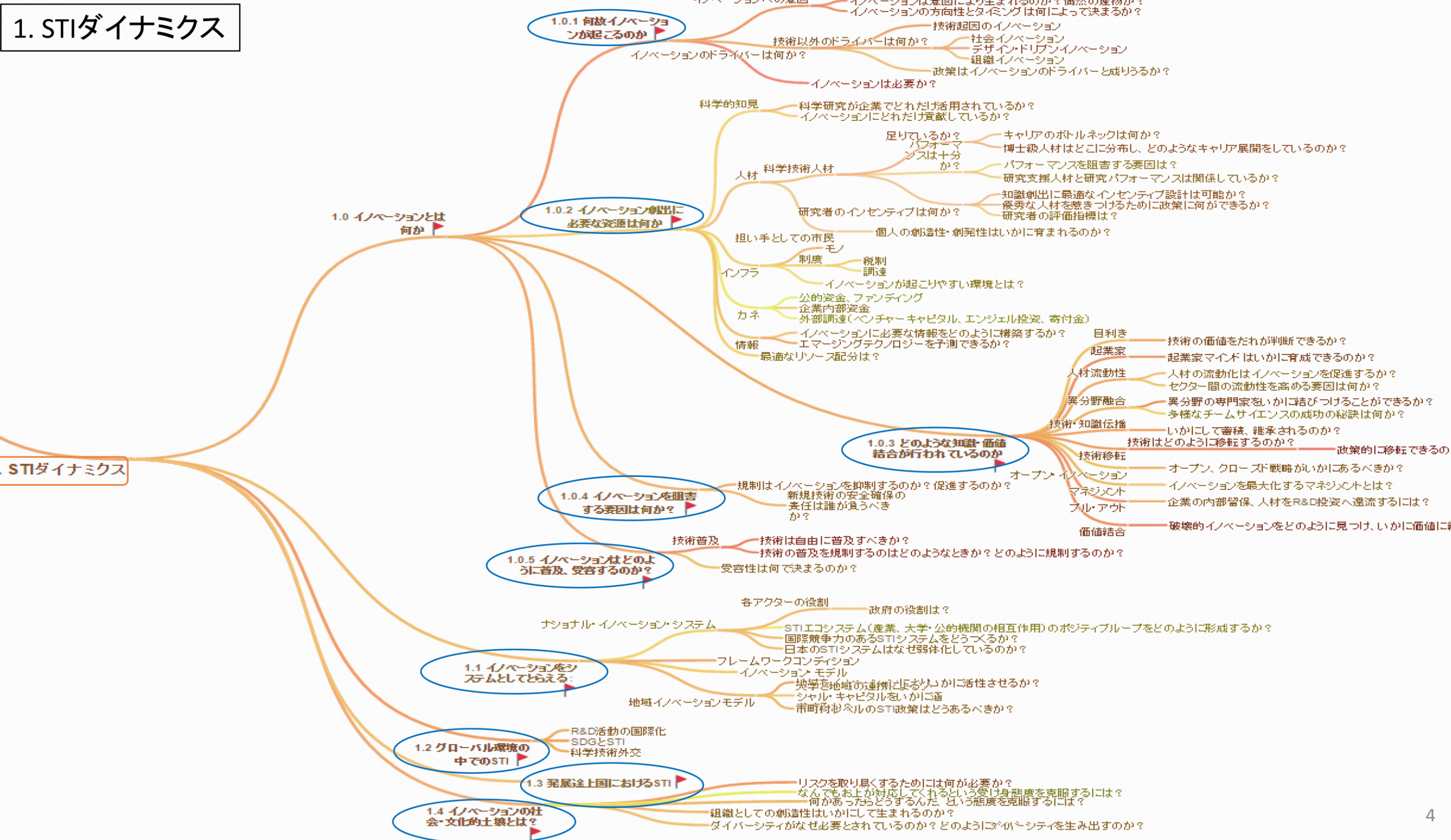
科学技術イノベーションのプロセスの中で、政策や政治はどのような役割を持つのか。科学技術イノベーションに広関わる政策ツールの政策的根拠や課題。政策形成のプロセス、ステークホルダー。政策形成における価値判断の問題。他の政策分野からみた科学技術イノベーション政策の位置づけ。政策担当者や研究者のコミュニケーション、協働のあり方、実践。

第2レイヤー

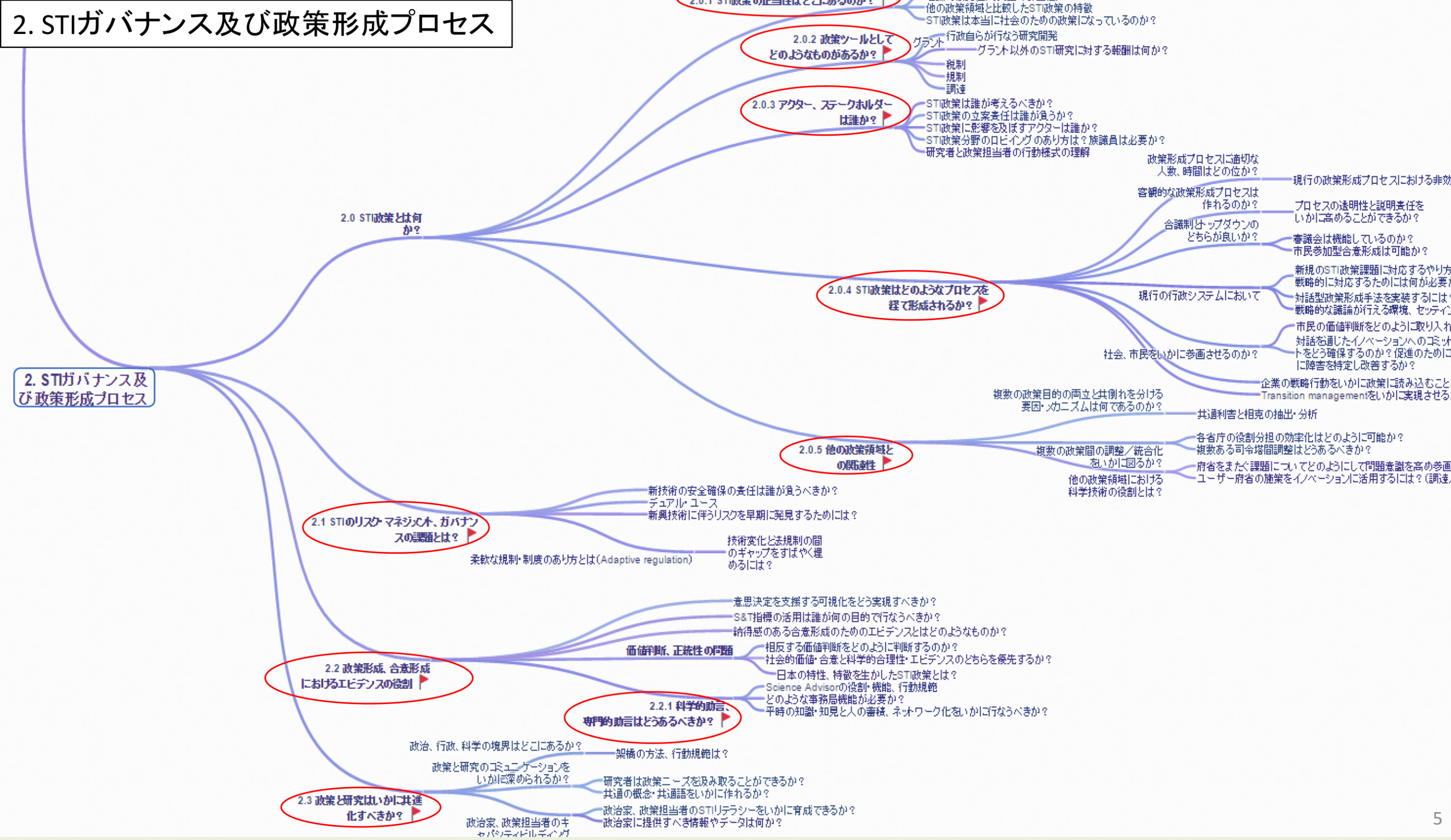


カテゴリーを細分化することにより全体の俯瞰・構造化を実施。

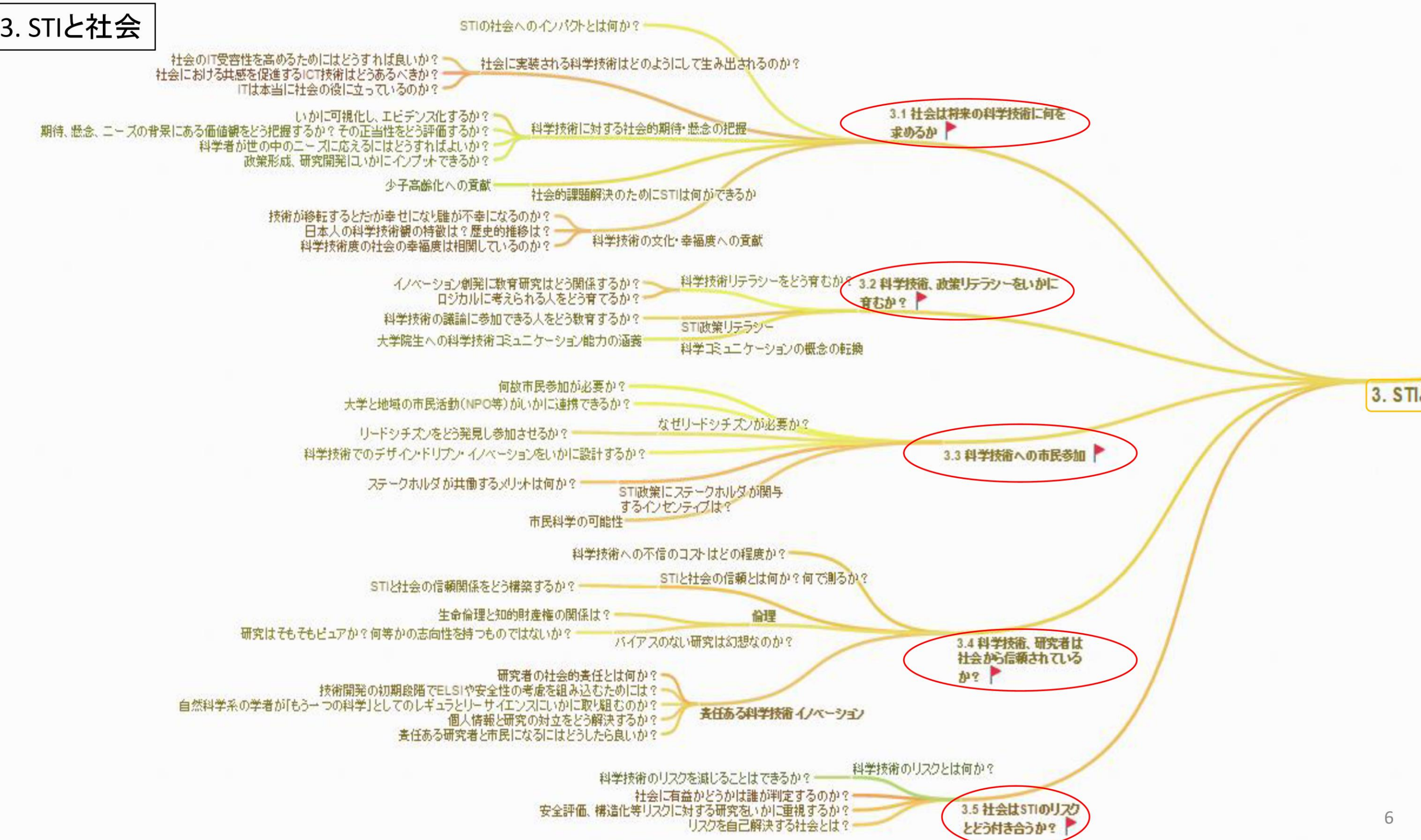
1. STダイナミクス



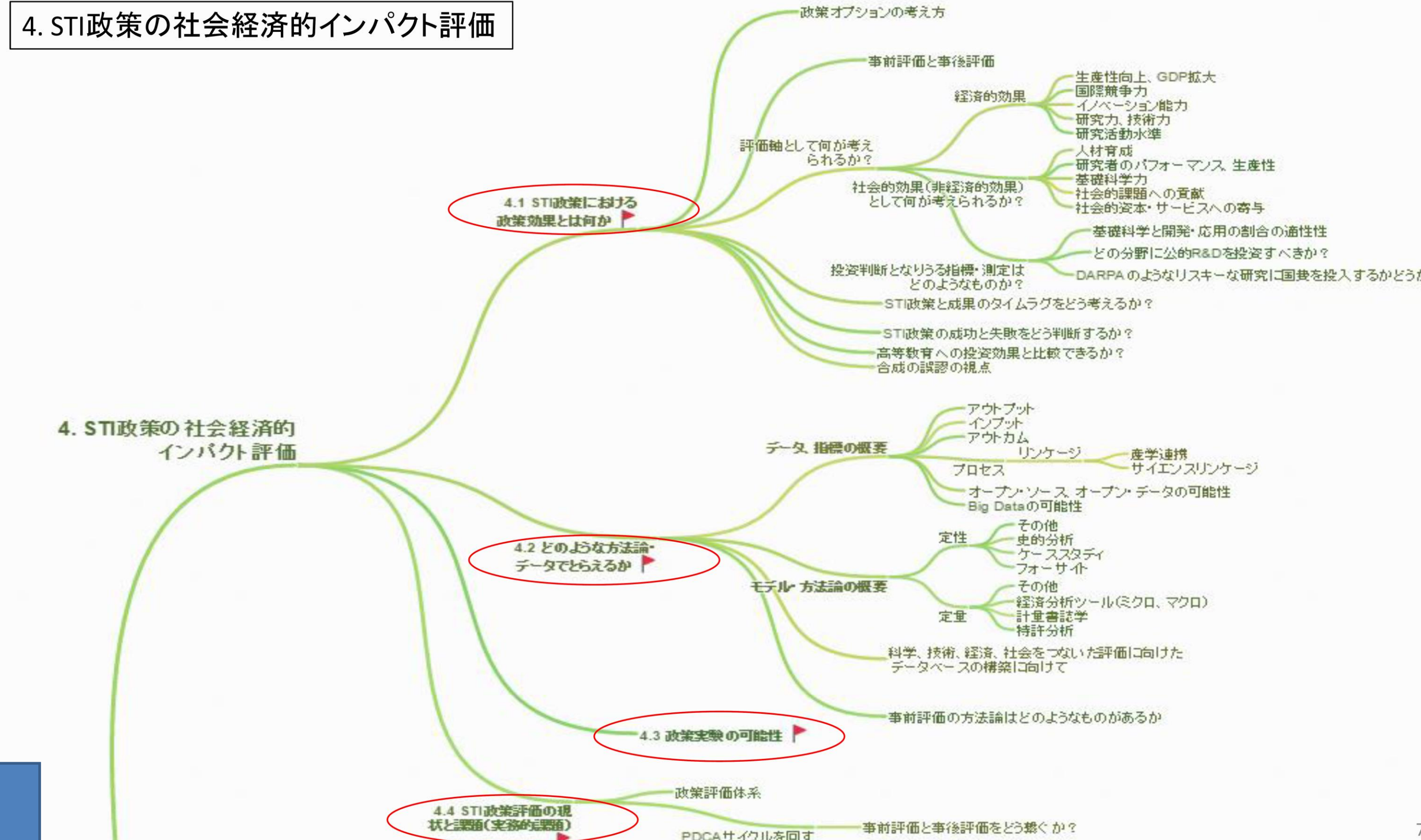
2. STガバナンス及び政策形成プロセス



3. STIと社会



4. STI政策の社会経済的インパクト評価



拠点大学におけるコア・カリキュラムや政策担当者研修、SciREX事業の重点課題設定において活用